



インド 官民ミッション

2013年9月

医療セミナー及び医療機関訪問実施（写真はフロンティア・ライフライン病院を訪問した官民ミッション団）

MEJ セミナー開催

9月11日（月）15:00～

於：タージマハールホテル（デリー）

主催：経済産業省
共催：JETRO、FICCI(インド商工会議所)、MEJ
後援：日本大使館
主賓：SIBAL 通信 IT 担当相、FICCI 理事長、茂木経産大臣、八木駐インド大使
経産省：富田商務情報政策局長、森田ヘルスケア産業課長、岡崎係長
MEJ：山本理事長、内田理事
講演企業：東芝メ、日立 G、島津製作所、コニカミノルタ、オリンパス、富士フイルム、住友重機械工業、タニタ
参加数：約 140 名 うち現地医療関係者 100 名、
現地企業関係者 30 名、メディア 10 名



本セミナーでは、経産省ヘルスケア産業課森田課長のオープニングスピーチに続き、MEJ 山本理事長が「官民一体でアウトパウンド事業も推進する新組織」と新生 MEJ を紹介。FICCI（インド商工会議所）4 企業のプレゼンに続き、予防・診断・治療のテーマに沿って日本企業 8 社が自社製品を PR した。更には、シバル通信 IT 担当大臣と茂木経産大臣よりスピーチがあり、両国の更なる協力関係強化を確認して閉会となった。シバル大臣は、インド側からは、「現地生産や販売網構築における日印協業」を求める声が多く聞かれた。今回のセミナーで築いたインド側関係

者とのネットワークを維持・拡大させながら、インドでの医療事業展開を検討してゆきたい。



（写真：シバル通信 IT 担当大臣と茂木経産大臣）

病院訪問 1 Rockland 病院



セミナー翌日の 12 日、官民ミッション団は Rockland 病院を訪問。2004 年に創設された比較的新しい病院グループ（デリー拠点）が今年 1 月に開設したばかりの施設で、小規模クリニ

クや大病院との連携を構築する「診断センター」の設立も検討中。資金力のある私立病院だけあって設備も先進的で、レイアウトも非常に機能的に配置されている。

病院訪問 2 Apollo 病院

12 日夜、一行はチェンナイに移動し、翌 13 日、インド国内で 50 サイト以上の病院を経営する Apollo 病院 グループの本部を訪問。病院内外共に大混雑しており、外来だけで 1 日約 2,000 人。CT、MRI の他、陽子線治療システムやサイバーナイフなどの先進医療の提供も検討されている。

病院訪問 3 Frontier Lifeline 病院

13 日午後、チェンナイ市内からバスで 2 時間移動、Frontier Lifeline 病院 Mediville を訪問。ここはインド初の経済特区「メディカルサイエンスパーク」。医療・教育の他、基礎研究や受託研究（特に再生医療関連）などをワンストップで行う構想を持ち、広大な敷地内にはゴルフ場建設も計画されている。現在も広くプロジェクトに参加する投資企業を募集中。



（写真：建物へのアプローチ、門から約 200m）

◆インドの水事情◆ 一流ホテルなら大丈夫？

「インドでは、水道水、氷、生野菜は絶対だめ。シャワーも要注意！」と周囲におどかされ、水をペットボトルで持ち込むなどそれなりの覚悟で臨んだ。ところが同行スタッフに「被害者」は出ず、やや拍子抜け。中には「それならば・・・」とプールにトライする強者も。それでも大丈夫。聞けば、セミナー会場となったタージマハールホテルでは、ホテル独自に浄水を行い、氷も一度煮沸するなどの対策を施しているとのこと。しかし、このホテルは運良くセーフだったが、インドの水事情が厳しいことに変わりはないので、訪問時はくれぐれもご注意ください。

編集：MEJ 事務局 和田賢治